

古代人の下呂石への憧れ

第1回

下呂石シンポジウム

平成15年11月9日(日)

午前9時30分より

会場 下呂観光会館

日程

9:30 開会

午前の部 基調講演

9:50~10:20 岩田 修「石器に利用された下呂石の広がり」

10:25~10:55 吉朝則富「飛驒の下呂石、その経歴」

11:00~11:30 吉田英敏「大林遺跡を発掘して」

(昼食) 石器づくりの実演、石器、土器の鑑定会や展示物説明

11:30~13:00

午後の部 研究講演

13:00~13:45 沢田伊一郎「瀬戸内技法と下呂石」

13:50~14:35 永塚俊司「黒曜石と下呂石—細石刃石器群にみる下呂石の利用—」

14:45~16:30

シンポジウム「下呂石への憧れ—古代人の下呂石利用の実態—」

参加者: 永塚俊司・沢田伊一郎・吉田英敏・吉朝則富・岩田修・
小池秀雄・斎藤洋司

コメント…神村透、後藤信幸

閉会 16:40 予定

当日、資料を300円で販売しています。

入場無料

下呂石って下呂でしか採れないんでしょ。それなのにこんなに遠いところでも使っていたの？

大林って湯ヶ峰のふもとでしょ。古代人は大林で何をしていたのかな？

へえ〜。石器ってこうやって作っていたのか。すごいな〜
石器ってこんなふうに使っていたのか。始めて知ったよ。

なるほど。古代人はこんなに下呂石を大事に使っていたのか。下呂石ってすごいんだなあ。

下呂石とは考古学上の名称で、下呂町の湯ヶ峰周辺で産出される「湯ヶ峰流紋岩」のことです。下呂石は石器の材料として、今から約2万年前の旧石器時代から弥生時代(約千七百年前)が終わるまで生活用具として大切にされました。この下呂石は各地へ流通しており、遠くは関東・関西地方でも石器の材料として利用されてきました。

下呂石が今、注目されています。

下呂石シンポジウムでは、下呂石利用の研究についての発表をします。また、お昼には石器づくりの実演や、町民の皆様から寄せられた石器類などを展示し、解説いたします。

この貴重な機会には是非皆様のご来場をお待ちしております。どうぞお気軽に起こしてください。

主催 下呂石シンポジウム実行委員会

共催 (財)下呂町ふるさと文化財団、下呂町郷土史研究会、下呂町教育委員会、飛驒考古学会

写真/ふるさと歴史記念館前 下呂石のオブジェ